

阪神淡路20年 ひょうご消防のつどい2014の開催

消防団・消防本部の幹部等約700人が加古川市民会館に集合!!



発行所
公益財団法人兵庫県消防協会
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
編集発行人 岸 谷 義 雄
題字 井 戸 知 事

もういいかい
火を消すまでは
まあだだよ

平成二六年一〇月一九日
(日) 加古川市民会館におい
て阪神淡路二〇年ひょうご消
防のつどい二〇一四が開催さ
れました。

このつどいは、兵庫県下の
消防本部・消防団の幹部等が
共に集い、永年にわたり消防
業務に従事してきた消防職
員・消防団員の功績を讃えた
表彰を行うとともに、幹部の
研修を行い、士気の高揚と知
識・技術の研鑽を深めること
を通じて消防人の強固な団結



井戸知事式辞



会長あいさつ

ひょうご消防のつどい
二〇一四に寄せて
知事式辞
地域力防災の担い手消防を
支える人の活躍期待

と消防機関の連携体制を強化
することを目的に実施してお
ります。本年度は、第一部に
は名古屋大学減災連携研究セ
ンター長・教授の福和伸夫氏
を講師に迎えて講演を行い、
第二部に播磨町消防団女性分
団による啓発劇、そして第3
部に知事表彰及び県消防協会
長表彰を行いました。



協会長表彰

地元播磨町消防団女性分団に
よる啓発劇が披露されました。
演目は「おしえてノラえも
ん」で、地震や津波が発生し
たらどうしたらいいのか?ノ
ラえもんとのお太が『どこで
もドア』で地震発生現場へか
けて防炎について説明し、
楽しくわかりやすい劇を披露
していただきました。

阪神淡路二〇年 ひょうご消防のつどい 二〇一四表彰式受賞者一覧



知事表彰

- 1 兵庫県知事表彰
 - (1) 表彰旗 太子町消防団
 - (2) 竿頭綬 姫路市夢前町消防団
 - 西宮市消防団
 - 香美町消防団
 - (3) 功労章(一一五名)
 - ① 消防吏員 宝塚市消防本部
 - 消防監 大谷 英次
 - 他 七十七名
 - ② 消防団員 丹波市消防団
 - 副団長 畑 啓祐
- 2 兵庫県知事感謝
 - (1) 永年勤続功労賞 尼崎市消防団
 - 分団長 高田 幸春
 - 他 一名
 - (2) 家族の賞 稲美町消防団
 - 田口 幸代
 - 他 六八一名
 - (3) 親子二代の賞 姫路市消防局
 - 消防司令補 大西 千年
 - 姫路市夢前町消防団
- (4) 永年勤続功労章(三四三名)
 - ① 消防吏員 加古川市消防本部
 - 消防司令 柴田 恭介
 - 他 一一九名
 - ② 消防団員 たつの市消防団
 - 副団長 飯下 朋裕
 - 他 二二二名
- (5) 表彰状 尼崎市 大物町会婦人防火クラブ
- (6) 優良自主防災組織
 - ① 団体 神戸市 千代が丘防災福祉 コミュニティ
 - 他 一三団体
 - ② 個人 川西市 鈴木 松男
 - 他 一名



代表謝辞

- 3 兵庫県消防協会長表彰
 - (1) 表彰旗 神戸市垂水消防団
 - (2) 竿頭綬 明石市消防団
 - 養父市消防団
 - (3) 功績章 篠山市消防団
 - 副団長 田中 一裕
 - 他 一二七名
- 株式会社 吉川まちづくり公社
- 学校法人神戸学院大学
- 神戸学院大学ポトア
- イランドキャンパス
- 三木市

- 4 兵庫県消防協会長感謝
 - (1) 家族の賞 三〇年以上 神戸市東灘消防団
 - 三木 時子
 - 他 六二名
 - (2) 家族の賞 四〇年以上 神戸市灘消防団
 - 堂内 貴子
 - 他 二二名
 - (3) 家族の賞 五〇年以上 三田市消防団
 - 藤田 正子
- (4) 功績章 市川町消防団
- 副団長 山下 弘昭
- 他 二二八名
- (5) 勤続章 加東市消防団
- 副団長 吉田 正人
- 他 四四二名
- (6) 精勤章 南あわじ市消防団
- 副団長 木全 秀昌
- 他 四三三名



福和教授の講演



消防車乗車体験



消防団パネル展示



第24回全国消防操法大会

福崎町消防団、惜しくも大会連覇ならず



平成二六年十一月八日(土)、二年に一度消防団員による消防操法技術の全国ナンバーワンを決める第二十四回全国消防操法大会が東京臨海広域防災公園(東京都江東区有明)で開催されました。全国各地から集まった出場隊、応援者、来場者により会場は埋め尽くされました。

各都道府県の大会を勝ち抜いた精鋭達(ポンプ車の部二四隊、小型ポンプの部二四隊)が、郷土の名誉と期待を担い、その卓越した操法を披露してそれぞれ日本一を競いました。選手たちの操法に会場を埋め尽くす観客からは歓声があがり、会場は熱気に包まれました。

兵庫県からは、県の代表と



して、福崎町消防団が小型ポンプ車の部で一〇番目に操法を披露しました。福崎町消防団は日頃の厳しい訓練の成果を発揮し、素晴らしい操法を披露し、その結果、優勝が狙える総合得点九一点を獲得しました。しかし、岡山県と同得点であったため、大会規則で定められているタイムの短いものから順位付けとなりました。

その結果、福崎町消防団は第二位となり惜しくも大会連覇はなりませんでした。

今回全国大会に出場された福崎町消防団の皆様、応援や各種サポートをしていただいた関係者の皆様お疲れ様でした。

- 第二十四回全国消防操法大会 成績順位表**
- ポンプ車の部**
- 優勝**
長崎県 杵岐市消防団
- 準優勝**
神奈川県 座間市消防団
鳥取県 江府町消防団
長野県 富士見町消防団
- 優良賞**
高知県 仁淀川町消防団
静岡県 御殿場市消防団
富山県 砺波市消防団
香川県 さぬき市消防団
福岡県 小郡市消防団
熊本県 芦北町消防団
- 小型ポンプの部**
- 優勝**
岡山県 岡山市消防団
- 準優勝**
兵庫県 福崎町消防団

- 【大会次第】**
- 一 選手団入場
 - 二 開会式
 - 三 日本消防協会旗入場
 - 四 開会宣言
 - 五 国旗掲揚
 - 六 優勝旗返還
 - 七 主催者挨拶
 - 八 来賓祝辞
 - 九 歓迎の辞
 - 十 競技上の注意
 - 十一 選手宣誓
 - 十二 選手団退場
 - 十三 操法開始
 - 十四 休憩
 - 十五 操法終了
 - 十六 防災指導展示
 - 十七 表彰式
 - 十八 審査結果発表
 - 十九 表彰
 - 二十 閉会式
 - 二十一 万歳三唱
 - 二十二 国旗降納
 - 二十三 閉会宣言



- 第二十四回全国消防操法大会 優秀選手**
- ポンプ車の部**
- 指揮者 北海道 日高西部消防組合
平取消防団 福澤 肇
一番員 長崎県 杵岐市消防団 村田 博城
二番員 富山県 砺波市消防団 瀬尾 光平
三番員 長崎県 杵岐市消防団 中村 天洋
四番員 福岡県 小郡市消防団 松尾 紀亮
- 小型ポンプの部**
- 指揮者 滋賀県 甲賀市消防団 河尻 俊一
一番員 鳥根県 奥出雲町消防団 西村 聖
二番員 青森県 階上町消防団 佐京 喜一
三番員 山梨県 南アルプス市消防団 野田 雄一

第三三三回 全国消防殉職者慰霊祭

(公財) 兵庫県消防協会

第三三三回全国消防殉職者慰霊祭が、平成二六年九月一日、日本消防会館ニッショーホールにおいて、厳粛に執り行われました。

本慰霊祭において合祀されている御霊は、生前に郷土愛護の精神に燃え、住民の生命、身体及び財産を災害から守るため、身を挺し消防・救急活動を行ない不幸にも殉職された全国の消防団員・職員及び一般協力者の方々です。

祭壇には、今回あらたに三柱の御霊が合祀され、あわせて五、六八二柱が奉納されました。

式典には当県から、岸谷会長をはじめ遺族三名が参列し、御霊の奉納が行われ、黙禱を捧げた後、秋本日本消防協会長の式辞、安倍内閣総理大臣、高市総務大臣からの追悼のこゝとばに続き、遺族代表による追悼のこゝとばがありました。

その後は参列者が故人の冥福を祈り献花を行い、江戸消防記念会から鎮魂の歌(木遣り)が披露され、式典は厳かに滞りなく終了しました。



平成二六年度 秋季全国火災予防運動

消防庁予防課

消防庁では、『もういいかい 火を消すまでは まだだ』を平成二六年度全国統一防火標語とし、平成二六年十一月九日(日)から一五日(土)までの七日間にわたり、平成二六年秋季全国火災予防運動を実施しました。

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たって、火災予防思想の一層の普及を図り、火災による死傷者及び財産の損失を防ぐことを目的として、「一九九番の日」である十一月九日に毎年実施されているものです。

火災予防運動の実施に当たって、次の五点を重点目標として掲げられました。

- ① 住宅防火推進
- ② 放火火災防止対策の推進
- ③ 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- ④ 製品火災の発生防止に向けた取組みの推進
- ⑤ 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底

空気が乾燥し、火災が発生しやすい時季となつてまいります。皆様も日頃から火災予防には十分注意されていると思いますが、この火災予防運動を機に、より一層の防火意識の高揚に努めてくださいますようお願いいたします。

住宅防火 いのちを守る
七つのポイント

三つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

四つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防炎品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

一般財団法人日本防火・危機管理促進協会 消防庁 全国消防長会

秋の全国火災予防運動
11月9日～11月15日

もういいかい
火を消すまでは
まだだよ

このポスターは、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。

平成26年度合同防災訓練を実施

八五機関、二、〇〇〇名が参加!!

県では毎年、防災週間にあわせて地域の市町と共催した合同防災訓練を実施しています。阪神淡路大震災から二〇年となる今年は、平成二六年八月三十一日(日)、芦屋市の潮芦屋フリーゾンをメイン会場とし、兵庫県及び阪神地域七市一町(芦屋市、尼崎

市、西宮市、伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町)の主催により実施しました。訓練は、八月三十一日(日)午前一〇時、南海トラフを震源とするマグニチュード九・一の地震が発生し、極めて広範囲に甚大な被害が発生して

いる想定ではじまりました。芦屋市では震度六弱を観測し、家屋が倒壊して火災も発生しており、市街地では交通事故や倒壊した家屋が道路を塞ぐなど、大規模な交通障害が発生し、また、沿岸部では津波が押し寄せ、海に流された漂流者も確認しているとい



一斉放水訓練



ブラックホーク

う状況を想定して各会場で訓練が行われました。今回初めて在日米軍も参加し、キャンプ座間から軍用ヘリ「ブラックホーク」が飛来し、陸上自衛隊と連携して救援物資の輸送や救出訓練にあたりました。なお、各会場での訓練内容は下記のとおりです。

【訓練内容】
一 メイン会場(潮芦屋フリーゾーン)
住民避難・誘導訓練/防

- 二 サブ会場一(芦屋市総合訓練)
D M A T 搬送訓練、S C U 開設・運営訓練、重篤患者搬送訓練
陸路・海路・空路による救援物資搬送訓練
ライフライン復旧訓練、ガス、電力の復旧訓練
- 三 サブ会場二(芦屋市保健福祉センター)
福祉避難所開設訓練(要援護者受入準備、ヘルパー・介護用品等の受入)
災害時要援護者受入訓練
福祉避難所運営訓練(避難者名簿の作成、給食・生活用品の配給、看護師による巡回・健康管理)



兵庫防災ヘリ



知事講評

訓練終了後、井戸知事から「実践的な防災訓練を積み重ねることが大切である。来年の一月で阪神淡路大震災から二〇年を迎えるが、これまでの防災・減災の取り組みを兵庫県から全国に発信し、明日の災害に備えていきたい。」とのお話がありました。

ポランティア受入ボランティアセンター設置・運営訓練
※上記訓練のほか、訓練当日午前一〇時に地震が発生したとの想定に基づき、住民各自がそれぞれの居場所を身を守る行動をとるシェイクアウト訓練が行われました。



一斉放水中



救出救助訓練



芦屋市消防団



倒壊家屋からの救出訓練



初期消火訓練



救出訓練

第79期初任教育査閲にて 半年間の訓練成果を披露！

消防学校を卒業し、「消防人」として新たな一步を踏み出す！



取材：(公財)兵庫県消防協会



岸谷会長より励ましのことば

九月二〇日(土)、兵庫県消防学校にて、第七九期初任教育査閲が執り行われました。県内二三消防本部一六〇名の教育生達は、半年間厳しい訓練を積み重ね、その逞しく成長した姿を、保護者の皆さんや所属消防本部の方々へ、余すところ無く披露しました。この半年間、厳しい訓練に耐え、自身を成長させることができたのは、家族や教官の存在はもとより、第七九期の「仲間」の存在があったからです。

第七九期初任教育生は、「確保よし！市民の命 仲間の手」というスローガンを掲げました。入校当初から、彼らが毎日のように言われ続けた「安全管理」。

自分の命・仲間の命・市民の命、全てを守るための確保。いつも大きな声で反復し、常に徹底してきたそうです。

自分達の強い意志、仲間意識、安全管理を組み合わせたスローガンは、兵庫県全体の安全と安心にも確実に繋がっていくことでしょう。

第七九期初任教育生の皆さんは、九月二六日(金)に卒業式を終えました。彼らはそれぞれ所属で、現場の最前線に就くこととなります。卒業式で、上り口センター長が教育生の皆さんへ「三つのお願い」をされました。

まず一つ目は、消防士を志したときの気持ち。そして今この時の気持ちを持ち続けて欲しいということ。

そして二つ目は、ご家族をはじめ、お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れないこと。

最後三つ目は、決して死なないこと。どんな危険な現場へ出ても必ず生還すること。以上の三つです。



知事祝辞 (代理 早金災害対策局長)



一斉放水訓練



消防活動応用訓練



第79期のスローガンを掲げる教育生達

消防団。ピックアップ

Pick Up!

『自分たちのまち』を守るため』

伊丹市消防団

伊丹市は、県の南東、猪名川と武庫川に挟まれたなだらかな丘陵地にあります。市の面積は二五・〇九平方キロメートル、人口は一九万七千余人を数え、阪神間の中核都市であります。市の東部には大阪国際空港があり、利便な交通アクセスを生かして先端技術産業が多数立地しています。また、特産品の南京桃をはじめ、潤いと安らぎを提供する植木産業も盛んで、江戸



岸谷団長に訓練開始報告

時代の酒蔵業や俳諧文学の栄えた地としての古き良き伝統と文化が息づくまちです。本市消防団は、明治四二年「伊丹消防組」として発足し、昭和二三年「伊丹市消防団」として自治体消防体制となり、現在は、岸谷消防団長以下、一部六分団一〇三名で地域に密着した防火防災活動を展開しています。

消防団の活動については、防週間中のパトロールや、出水期における水防工法訓練、ポンプ操法訓練、年末特別火災警戒市内各小学校区の自主防災会と連携した合同防災訓練など地域防災の要として活発に活動しています。

各分団で、月一、二回、定期的に自然水利からの取水・放水訓練を実施するとともに年一回、六分団合同で水道局の広い敷地を借用して、敷地内にある消火栓からの取水・放水訓練をして消防活動技術の向上に努めています。平成二四年度からは、地震や風水害などの救助活動に備え救急・救助資器材の取り扱い訓練も実施しています。

この訓練を始めた当初、団員の多くが、チェーンソーやエンジンカッター、ましてや手動式油圧切断機を使用した経験はなく、救助資器材の取扱いに不安がありました。訓練を繰り返すことで取扱い技能が向上しています。

また、今年一月には、当市で初めて的女性消防団員を七人採用しました。今後は、男性消防団員と同様に消防出初式や消防団訓練に参加するとともに、安



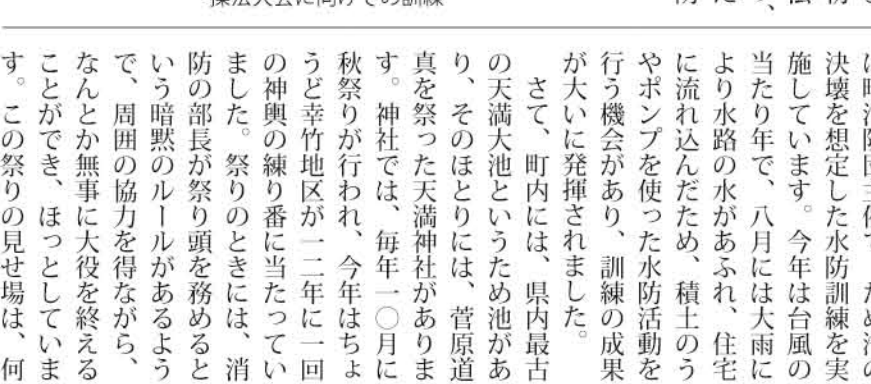
救助資器材取扱訓練



女性消防団員入団



消防団放水訓練



操法大会に向けての訓練

全・安心のまちづくりを目指し、応急手当普及員の資格を取得して応急手当の普及啓発活動などの新しい消防団活動にもチャレンジしていきます。毎年、多くの被害を出す災害が、全国各地で発生しています。「その時」、市民の生命・財産、また「自分たちのまち」を守るため、地域防災の精神を強く持ち、伊丹市消防団は日々活動しています。

稲美町は、兵庫県の南東部に位置し、東播磨地区と呼ばれており、東は神戸市、西は加古川市、南・北には明石市、三木市とそれぞれ隣接しています。稲美町の消防団は六分団四三部で構成され、この中に団員八五〇人余りが所属しています。幸竹部は天満南分団に属し、六分一部、和田部、森安部をあわせて四つの部が天満南分団に属していています。小さな所帯なので、昔から「天満南分団は一つ」というスローガンがあり、横の連携もすっかりできています。幸竹部は、公会堂の建設などで削られて、少しずつ小さくなっていますが、その名のとおり、小さな竹やぶがあり、詰所もその近くに立っています。消防団の活動は、三月初旬から四月に開催される操法大会に向けての訓練に始まり、出初め式や年末警戒といった恒例行事に加え、町主催の防

全国的に消防団の人員確保が難しい状況のようですが、幸竹部でも団員の高齢化が進んでいて、団員の確保に苦慮していました。今回の祭りを機に若い世代とも交流が進み、来年四月には、新しい団員が入ってくることに。お喜び、部長として心から喜んでいるところです。

今後も、町消防団や稲美町消防署などの関係機関と連携しながら、地域防災の要として、また防火防災のために責務を果たしていきたいと思

『市民を守れ！消防団』

稲美町消防団天満南分団

稲美町は、兵庫県の南東部に位置し、東播磨地区と呼ばれており、東は神戸市、西は加古川市、南・北には明石市、三木市とそれぞれ隣接しています。稲美町の消防団は六分団四三部で構成され、この中に団員八五〇人余りが所属しています。幸竹部は天満南分団に属し、六分一部、和田部、森安部をあわせて四つの部が天満南分団に属していています。小さな所帯なので、昔から「天満南分団は一つ」というスローガンがあり、横の連携もすっかりできています。幸竹部は、公会堂の建設などで削られて、少しずつ小さくなっていますが、その名のとおり、小さな竹やぶがあり、詰所もその近くに立っています。消防団の活動は、三月初旬から四月に開催される操法大会に向けての訓練に始まり、出初め式や年末警戒といった恒例行事に加え、町主催の防

稲美町は、町名からも分かる通り、古くから稲作が盛んで、雨の少ない瀬戸内式気候に合わせて、先人たちは、たくさんのお米を築いて、少ない雨を有効に利用してきました。今でも町内には八八箇所のため池が点在しており、全国有数のため池密集地域となっています。このような地域の特性から、稲美町消防団は、水防活動にもとりわけ熱心に取り組んでおり、五月には町消防団主催で、ため池の決壊を想定した水防訓練を実施しています。今年台風の影響で、八月には大雨により水路の水があふれ、住宅に流れ込んだため、積土のうやポンプを使った水防活動を行う機会があり、訓練の成果が大いに発揮されました。

稲美町は、町名からも分かる通り、古くから稲作が盛んで、雨の少ない瀬戸内式気候に合わせて、先人たちは、たくさんのお米を築いて、少ない雨を有効に利用してきました。今でも町内には八八箇所のため池が点在しており、全国有数のため池密集地域となっています。このような地域の特性から、稲美町消防団は、水防活動にもとりわけ熱心に取り組んでおり、五月には町消防団主催で、ため池の決壊を想定した水防訓練を実施しています。今年台風の影響で、八月には大雨により水路の水があふれ、住宅に流れ込んだため、積土のうやポンプを使った水防活動を行う機会があり、訓練の成果が大いに発揮されました。



天満神社秋祭り 禊 (みそぎ)

わが町の団長さん

「団員からの厚い信頼」



福崎町消防団
瀧川 格威

福崎町は、兵庫県の中播磨地域の中心に位置し、市川中流の兩岸にひろがり、豊かな自然と日本民俗学を確立し歴史に名を残す柳田國男生誕の地で歴史と文化が漂う魅力あふれるまちです。

福崎町消防団は、瀧川団長以下六〇〇名、消防車両三四台をもって、地域の安全・安心のため活動しています。

瀧川団長は、平成一〇年に福崎町消防団に入団され、平成二〇年に分団長となり、平成二二年には本団幹部に抜擢されました。以後、副支部長、支部長を歴任し、平成二六年に団長に就任しました。持ち前の行動力と冷静な判断力で、災害現場においては、適確な指揮をとるとともに、率先して活動にあたられています。団長は、いつも真剣に、何事にも焦らず、騒がず、冷静に判断される指導力、統率力は、ずば抜けたものがあり、あらゆる災害現場、訓練においてリーダーシップを発揮され、団員からの信頼は言い表せないほど厚いものがあります。また、普段の団長の素顔は、

明るくユーモアがあり、団長がいるだけでその場を和ませてくれますし、優しい性格でもありますので、何でも話やすく、相談しやすい雰囲気を持った存在でもあります。

瀧川団長が就任されてから早や半年が過ぎましたが、これからも益々ご奮闘していただき、福崎町消防団を牽引し、災害から町民の生命・財産を守るリーダーとしてのさらなる活躍が期待されています。



「連合消防団長の重責を担う」



豊岡市豊岡消防団
河口 清

豊岡市は、県内で一番大きい市域のため、旧市町単位で多団制となっています。このため、大規模災害が発生した場合には、六団が連携するため各消防団を指揮する「豊岡市連合消防団長」を市長が任命することになっています。

今年四月一日付で豊岡市豊岡消防団長に就任された河口団長が、豊岡市連合消防団長に任命されました。大規模災害時には、豊岡消防団だけでなく市内全消防団を指揮することとなり、その重責は計り

知れません。そのなかで河口団長は、迅速かつ的確な判断力、統率・指導力があり、その能力を十二分に発揮していただけるものと確信しています。

平成一六年台風二三号においては、当時分団長として管内の堤防を保護するため、混乱のさなか、なかなか応用することのできない「木流し工法」という水防工法を的確に指揮されました。このように、いかなる状況においても、冷静沈着に対処される姿には、心から敬服します。

その後、副団長に就任されてからは、団長・団員の厚い信望を得ながら、台風二三号時の経験を踏まえ、消防団の水防活動力の強化に尽力されました。

今後も、豊岡消防団だけでなく、豊岡市全消防団のリーダーとして活躍されることを期待しています。

私が入団したきっかけは、地域の団員の方の勧めでした。正直悩んでいました。

しかし、この消防団の活動を通していろいろな人と係わり合いが持て、この地域に少しでも早く溶け込めるのではないかとと思い入団を決心しました。

入団してまだ一年も経っておらず、その間に私が経験したことといえば、消防車に乗って夜間の広報パトロールに回ったこと、地域行事での警備、消防操法での選手のサポートなどで、自分自身消防団の活動に全く貢献出来ていないのが現状です。

そんな中、私が感動を覚えたのが、消防操法の大会でした。

選手の方々の真剣に取り組む姿、その選手を支えサポートしている団員の皆さんの姿を目の当たりにしたのはその団結力でした。

この消防団の団結力の輪の中に少しずつでも入ってほしい。先輩方を見本に地域の皆さんの安全、安心を胸に、そして自分自身様々な消防団活動を通じ、もっともっと地域の活性化等にも貢献出来るよう精進していきます。「頑張れ俺！」

われら若手消防団員



頑張れ俺！

姫路市飾磨消防団 橋東分団
林 仁哉

がんばってます、女性消防団員



播磨町消防団女性分団

『子育てをしながら活動中!』 播磨町消防団女性分団

私たち播磨町消防団女性分団は、平成一八年八月に結成され、現在二〇名の子育て真っ最中のメンバーで活動しています。

活動の柱の一つである啓発劇は自治会などに大人気です。



啓発劇『火はこわい〜大怪獣バトル編』

留守番中にボヤ騒ぎを起す「ちびぶた君」に「けすぞう君」が、消火器の使い方や一一九通報等をコミカルに説明します。

② 『住宅用火災警報器をつけよう〜嫁姑編』
防災評論家の「梶ヶ世子」が住宅用火災警報器についてクイズ形式で解説します。

③ 『救急車が来るまでに：あなたにもできること〜白雪姫編』
救急車が到着するまでに心肺蘇生やAEDで助かる命があるはず。「けすぞう君」が白雪姫のストーリーで救命救急の流れを解説します。

④ 『火はこわい〜大怪獣バトル編』
消防団員である「ウルトラ兄弟の妻たち」が放火事件や着衣着火事故などについて検証、防火学習会をしています。

⑤ 『教えてノラえもん〜防災編〜』
「ノラえもん」と「のぶ太」が地震や津波が発生したらどうしたらいいのかを一緒に考えます。

また、啓発劇以外にも、平成三三年度に行われる女性消防隊操法大会全国大会に兵庫県代表として出場する予定です。それに向けて、過去に出場経験のある稲美町消防団の協力を得ながら特訓もしています。

これからも播磨町と家族の協力のもと、子育てと消防団活動を両立させながら「明るく・楽しく・無理なく」をモットーに防火啓発活動をより一層推進していきたいと思っております。

地域のお知らせ

佐用町

河川改修工事で歴史的景観に配慮した取り組み

佐用町平福のまちなみは、慶長五年（一六〇〇）姫路城の支城として利神城が改修され、その西麓に居館を築き、佐用川を挟んで城下町が整備されたのが始まりと考えられています。寛永八年（一六三三）に平福藩が廃されたのちには、因幡街道の宿場町として発展し、街道一の宿場と称されました。

普通「まちなみ」と言うとき、道路に面した家並みが思い浮かべられます。しかし、平福では表通りだけでなく背後の佐用川に沿った石垣や建物の群に特徴があり、いわば裏通りの家並みで知られています。

街道の東側に佐用川が並行して流れ、河川護岸の石垣の上に土蔵や川面を眺めることのできる川座敷などの建物が連続的に並んでいます。各屋敷の中庭からは川へ直接降りるための石段があり、石垣中に川門と呼ばれる板戸が付けられているのが景観のアクセントになっています。

美しい川端風景からは、独特の建築風景と川に接した生活と工夫がうかがえます。佐用川の護岸は左岸がやや低く洪水時には遊水地となり、右岸側での浸水が起こらないように工夫され、この川門も内開きになって石段部分が遊水



平福川端風景沿いに整備された遊歩道



まちなみ景観に合わせた平福駅（智頭線）

地として機能したと言われます。平福では昭和四八年ごろ護岸工事のため、歴史的な石垣の多くはコンクリートなどに変わっていききました。しかし、この対岸のあたりは治水上安全が保証できないと言われながらも、保存運動のおかげで、低水護岸を除き古い石垣が残されていました。

しかし、平成二一年の水害で平福のまちなみも被害を受け、大規模な河川改修が平成二四年から平成二六年にかけて実施されました。

河川改修では、拡幅工事をするとともに、歴史的景観や左岸に残る石積み等に配慮し、自然石による護岸が整備されました。また、管理道として遊歩道が整備され、平福を代表する川端風景（連続する三軒の住宅が兵庫県景観形成重要建物に指定・平成一八年四月一日）を歩きながらお楽しみいただけます。

兵庫県ほぼ中央に位置するハート型をした市川町。とうとうと流れる清流市川、笠をかぶせたような形からその名がついたといわれる霊峰笠形山、四〇〇年もの歴史を持つ優美な甘地獅子舞など、豊かな自然と伝統文化が息づいています。人口一三、〇〇〇人の小さなまちですが、「小さくてもキラリと光るまち」づくりを進めています。

ゴルフクラブ発祥の地である市川町には、およそ二〇〇の事業所があり、その製品は国内にとどまらず海外にも輸出されるほど高い評価を受けています。



子どもたちによるステージイベント

まちを元気に！いちかわ商工祭

身の脚本家・橋本忍さんの功績を紹介する「橋本忍記念館」や図書館、音響の良さで好評のひまわりホールを有する市川町文化センターがあります。

文化センターでは、年間を通してさまざまな催しが行われます。その中で、秋の目玉といえは市川町商工会主催による「いちかわ商工祭」。毎年大勢の人でにぎわい、今年は一十一月一六日（日）に開催されます。

ステージでは、町立保育所の子どもたちによる太鼓演奏とダンス、町内の中学生によるコーラス、餅まきなどが行われるほか、マスケットキャ



商工業者による職業体験

ラクターひまりんの歌とダンスがお披露目されます。

会場には、地元企業や地域の方々による模擬店、子どもたちが企画販売する「キッズあきんど」が軒を連ねます。「キッズあきんど」は、子どもたちに商品販売を通じて商売のしかたを学んでもらうためのもので、焼きそば、ポッツプーン、クレープなど、子どもらしい楽しいお店が並びます。もちろん、市川町の名物「かしわめし」「ひまりん焼き」なども販売され、食欲の秋を満たしてくれそうです。

また、子どもたちがいろいろな職業を体験し学べる職業体験コーナーや、消防車や白バイの展示コーナーも設けられます。職業体験は、子どもたちに仕事の体験を通してなりたい自分を見つけてもらおうと、電気工事組合、ゴルフクラブ製造事業所、郵便局など地元企業の協力を得て実施。仕事を教わる子どもたちの表情は真剣そのものです。

さらに、地場産業のゴルフクラブを盛り上げようと、ジュニアゴルフレッスン・スナッグゴルフコーナーが今年から新たに登場。ジュニアゴルフレッスンは、実際に市川町産のアイアンを使い、ゴルフを体験することができます。

す。スナッグゴルフは、ゴルフの基本技術を学ぶために考案されたスポーツで、ゴルフに比べ簡単なので子どもや初心者でも楽しめます。

そのほかにも、播磨国風土記編纂一三〇〇年にちなんだ紙芝居の上映や、銀の馬車道関連イベントなど、盛りだくさんの内容となっています。

まちもみんなも元気になるいちかわ商工祭。皆さんおそろいでお越しください。そして、秋の一日を市川町でお楽しみください。

編集後記

日に日に秋が深まる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今月号では、阪神淡路二〇年ひょうご消防のついで二〇一四、第二四回全国消防操法大会について紹介しております。

全国消防操法大会の結果を二面に掲載しておりますが、福岡町消防団が小型ポンプの部で見事準優勝に輝きました。おめでとうございませう。惜しくも大会連覇は逃しましたが、兵庫県消防団の操法のレベルの高さを全国にアピールできたと思えます。

これからますます寒さが増し、暖房などの火の気を多く使う季節となります。乾燥した日も多くなりますので、火の取り扱いには十分に注意しましょう。

市川町